



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 4日 水曜日	試合コード	#38
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	山鹿市総合体育館

結果	A	スコア				B
			前半			
		12 — 14				
		後半				
		13 — 13				
		第一延長前半				
		—				
		第一延長後半				
		—				
		第二延長前半				
		—				
		第二延長後半				
		—				
		7mc				
		—				
		—				
		—				
	GER	25		27	FRA	
	ドイツ				フランス	

戦況	見出し	意地とプライドがぶつかり合った激闘
	前半	グループ突破をかけ、緊迫した雰囲気の中、FRAのスローオフで始まり、No. 24のポストシュートで前半が幕を開ける。FRAは7MTも決め、0-2と上々の滑り出し。GERもすぐに、No. 20のミドルで1点を返す。その後両チーム点を取り合い3-5で5分が経過する。しかしその後、両チーム10分過ぎまで固いDFで得点を許さない展開となる。FRAは1:5 DFでGERのバックプレーヤーにプレッシャーをかける。GERは何とか打破しようとダブルポスト攻撃を試みるが、攻めあぐねる展開が続く。FRAは守りから速攻や7MTが決まり、15分過ぎてスコアは4-8。FRAはポストシュートやスカイシュートを試みるが、GERのNo. 12 GKがファインセーブを連発し、流れを呼び戻す。GERは20分過ぎから、0:6 DFからの速攻やNo. 32のポストシュートなどで一気に差を縮め、26分過ぎには10-11と1点差まで追い上げる。一気に逆転したいGERだったが退場を機に失点し、12-14で前半を終了した。
後半	後半は、開始1分でGER No. 33のポストシュートが決まる。FRAはGERのバックプレーヤーにプレッシャーをかけるべく、2:4 DFにシステムチェンジ。GERはRBのNo. 4がブラインドシュートを連続して決め、FRAのDFを揺さぶることに成功。FRAもNo. 21のミドル、No. 24のポストシュートで10分過ぎまで17-18の一進一退の展開。この間、両チームのGKがファインセーブを連発し試合を引き締めた。11分過ぎ、FRAは0:6 DFにシステムチェンジをする。この変更を機にGERのシュートミスからの速攻、No. 29のスピードあるフェイントからの1対1などで一気に4連続得点し18-23とした。14分過ぎ、GERは堪らずタイムアウトを申請する。GERはタイムアウトで流れを変えることに成功し、17分から21分の間の4分間でNo. 20のミドル、ステップシュートなど連続3得点を含む4点をあげ、一気に22-23と1点差まで詰め寄る。試合はその後、両チームエースが得点を取り合い29分で25-26の1点差となり、会場のボルテージは最高潮に達したが、GERのシュートブロックからのルーズボールをFRAのNo. 27がそのまま得点し、25-27でタイムアップを迎えた。両チームともGKを中心とした固いDFと展開力に優れたOFが光り、お互いの意地とプライドがぶつかり合う名勝負となった。	



戦況作成者	土田 幸生
-------	-------